

新潟本社行動計画の取り組み状況について

2024年度 第2四半期進捗報告



2024年11月27日
東京電力ホールディングス株式会社
新潟本社

1. 安全性向上の取り組み
2. 新潟本社運営体制の構築の取り組み **update**
3. 防災支援の取り組み
 - ①緊急時の初動体制
 - ②新潟県原子力防災訓練への協力
4. 産業活性化の取り組み **update**
5. 地域貢献の取り組み
 - ①長岡技術科学大学との共同研究 **update**
 - ②地域行事への参加 **update**
6. 傾聴と対話の取り組み
 - ①コミュニケーションブース **update**
 - ②県民の皆さまへの説明会
 - ③発電所視察対応 **update**

2. 新潟本社運営体制の構築の取り組み (2/2)

<新潟県技術委員会における柏崎刈羽原子力発電所の安全対策の確認>

以下に2024年7月～9月に開催された新潟県技術委員会の実績を示す。(下線部が当社の対応実績)

■ 2024年度第3回新潟県技術委員会 (開催日：2024年8月23日)

- 柏崎刈羽原子力発電所の安全対策の確認事項22項目について、国や東京電力の説明や質疑の概要を図表を用いて取りまとめること、およびこれまでの議論をまとめた状況の整理や補足資料を添付することが、第2回新潟県技術委員会で方針として示された
- 上記を踏まえ、「柏崎刈羽原子力発電所の安全対策の確認(報告書・素案)」が県事務局より提示された
- 「施設の液状化対策」「水素爆発対策」および「耐震評価」に関連した全18項目の質問に対して、原子力規制庁から回答
- 「水素爆発対策」「耐震評価」および「使用済燃料プールの安全対策」の追加質問に対して、当社から書面回答

4. 産業活性化の取り組み 新潟工科大学との協働の取り組み

- 2024年7月18日に、東京電力のバックアップ用事務センターとして建設予定の東京電力柏崎レジリエンスセンター（以下、RC）について、新潟工科大学による協働プロジェクト成果発表会が開催された
- 新潟工科大学学生からは、災害発生時に、RCが一時避難場所として地域の皆さまにご利用いただけるよう、平常時利用の促進による認知向上を目的とした『防災キャンプ』を提案いただいた

《学生が発表した企画『防災キャンプ』》

【コンセプト】

- ◆RCおよび「防災」について楽しみながら知ってもらうこと
- ◆RCが年齢問わず交流できる空間としての役割を担うこと

【コンテンツ】

- 空間確保：車中泊体験、段ボールベッド組み立て
- トイレ：携帯トイレ体験、マンホールトイレ設置
- 食：薪割り体験、防災食体験
- 健康被害：健康器具説明、ラジオ体操体験
- 情報収集：壁面を活用した情報発信（ドライブインシアター）
他言語の人への情報伝達（ピクトグラム）
- その他：健康維持・コミュニケーション(モルック)、蓄電池の体験、
災害時の炊き出しの為に食材の栽培・収穫

- 提案いただいた『防災キャンプ』について、今後、新潟工科大学と深掘りして検討し、東京電力柏崎レジリエンスセンター運開後の実際のイベントでの実効性を高めてまいります

＜学生による成果発表会の様子＞

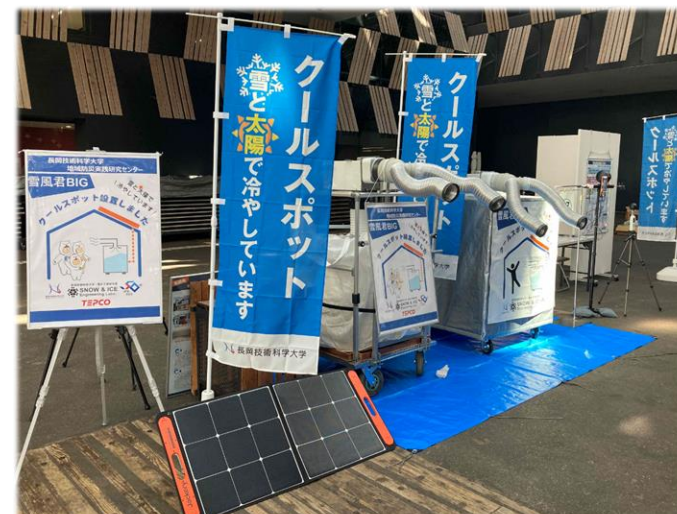


5. 地域貢献の取り組み ①長岡技術科学大学との共同研究

- 防災ワクチン®ワークショップは日本防災士機構主催の防災士フォローアップ研修で採用されており、6月の大分県での開催に続き、7月には新潟県でも開催された
- 8月2、3日に開催された「長岡まつり大花火大会」では、会場内の手洗い場として「ウォーターチェンジャー®」が昨年に引き続き採用され、右岸側と左岸側合わせて計5基が設置された
- 9月1日の防災の日に合わせて、長岡市内の小中学校4校で、長岡技術科学大学と当社で共同開発し、船山(株)が商品化した「ブレーカー実験キット」を使った防災出前授業を、長岡技術科学大学、船山(株)と協働で実施した
- 9月16日に日本雪氷学会、日本雪工学会主催による「雪氷研究大会」が14年ぶりに長岡市で開催され、関連事業として実施された「雪氷楽会」では、南魚沼の雪を冷媒とした可搬型スポットクーラー「雪風君BIG」を展示した



長岡まつり大花火大会での「ウォーターチェンジャー®」



雪氷楽会での「雪風君BIG」

5. 地域貢献の取り組み ②地域行事への参加

< 参加実績 >

地域行事	実施日	作業内容	参加者数
津南まつり	7月21日	・ 花火打上げ会場周辺ゴミ拾い	1名
ぎおん柏崎まつり 海の大花火大会	7月27日	・ 海岸清掃	38名
三条夏まつり協賛会 大花火大会	7月28日	・ 清掃	7名
大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ2024	7月13日 ～8月31日	・ 現地対応ボランティア	74名
長岡まつり大花火大会	8月3日	・ ごみ拾い清掃等	8名
越後加茂川夏祭り	8月14日	・ 会場付近の誘導および警備	2名
刈羽村ふるさとまつり	8月15～16日	・ イベント補助、清掃	23名
おぢやまつり花火大会	8月24日	・ 大会本部（放送席）の場所提供	4名
熊野三社秋季祭礼	8月24日	・ 「男神輿」への参加	4名
棚田みらい応援団	9月12日	・ 十日町市水沢地区棚田稲刈り	3名
中越大震災20年事業「オチヤホテル」	9月22日	・ ペットボトル（LEDライト）設置	5名
苗場山麓ジオサイクリング2024	9月29日	・ サイクリストのコース誘導等	6名

6. 傾聴と対話の取り組み ①コミュニケーションブース

- 新潟県内において「東京電力コミュニケーションブース」を開催し、皆さまからの疑問やご意見など、さまざまな「声」をお聴きしています。これまで、県内全市町村において154回開催し、33,504名にご来場いただきました
- 2024年4月からはコミュニケーションブースの開催頻度を増やし、一人でも多くの方に柏崎刈羽原子力発電所における安全性向上の取り組み状況等についてお伝えしています
- 引き続き県民の皆さまのご不安や疑問に丁寧にお答えするとともに、いただいた貴重なご意見については、今後の発電所運営に活かしてまいります

開催日	市町村	場所	来場者数	開催日	市町村	場所	来場者数
7月20～7月21日	田上町	道の駅たがみ	376名	8月17～18日	長岡市	イオン長岡店	408名
7月20～7月21日	刈羽村	サービスホール	433名	8月19～25日	刈羽村	PLANT-5刈羽店	239名
7月27日	刈羽村	TEPCO刈羽 ふれあいサロンき・な・せ	52名	8月24～25日	上越市	イオン上越店	408名
7月27～28日	小千谷市	イオン小千谷店	268名	8月26日～9月1日	柏崎市	MEGAドン・ホーテ柏崎店	337名
8月3日～8月4日	新潟市	DEKKY401	614名	9月7～8日	五泉市	ラポルテ五泉	535名
8月15日	刈羽村	ふるさとまつり会場内	110名	9月21～22日	十日町市	リオン・ドール十日町店	200名
8月15日	出雲崎町	船まつり会場内	254名	9月29日	柏崎市	ほんちようマルシェ	119名
				合 計	10市町村 14会場		4,353名

■ 会場で頂いた声

- ✓ 原子力発電について詳しく知ることができた。思っていた以上に訓練や対策を行っていることを知り安心できた。
- ✓ 早く再稼働してほしい。事故があっているいろいろな対策されていることが分かって良かった。
- ✓ 再稼働に中立だったが、福島第一原子力発電所の事故の反省と教訓を踏まえた安全対策についてコミュニケーションブースで説明を聞いて気持ちが賛成に傾いた。
- ✓ コミュニケーションブースに参加して、サービスホールと発電所を見学したくなった。
- ✓ トラブルが多いので不信感がある。

6. 傾聴と対話の取り組み ③ 発電所視察対応

- 福島第一原子力発電所の事故をふまえ、新潟県内をはじめ多くの皆さまに、柏崎刈羽原子力発電所を視察いただきました（2011年以降の視察実績は累計で約12万9千人）
- 視察では、「安全対策に対する理解が深まった」「取組みを多くの人に伝えるべき」との声もいただいています
- 一人でも多くの方に柏崎刈羽原子力発電所を視察いただけるよう、コミュニケーションブース等の対面の場に限らず、様々な媒体でのコミュニケーション活動を通じてご案内してまいります

【発電所視察者数】

（2024年9月30日現在）

